

[平成20年度設置]

鳴門教育大学大学院 学校教育研究科
高度学校教育実践専攻（専門職学位課程）
【教職大学院】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 鳴門教育大学
平成20年4月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部企画課

職名・氏名 課長 池田敏勇

電話番号 088-687-6012

（夜間） 088-687-6000

F A X 088-687-6040

e-mail ski.kikaku@jim.naruto-u.ac.jp

目 次

1	調査対象大学院の概要等	1
(1)	設置者	1
(2)	大学名	1
(3)	大学院本部の位置	1
(4)	管理運営組織	1
(5)	調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等	2
(5) -	調査対象研究科の名称，定員	2
(5) - - (a)	調査対象研究科等の入学者の状況（概要）	2
(5) - - (a)	調査対象研究科等の在学者の状況（概要）	3
(5) - - (b)	調査対象研究科等の入学者の状況（学生の区分毎）	5
(5) - - (b)	調査対象研究科等の在学者の状況（学生の区分毎）	7
2	授業科目の概要	9
(1)	授業科目表	9
(2)	授業科目数	1 1
(3)	未開講科目	1 1
(4)	廃止科目	1 1
(5)	授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	1 1
(6)	「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	1 1
3	施設・設備の整備状況	1 2
4 - (1)	既設大学等の状況	1 3
4 - (2)	既存の教員養成分野における研究科等の状況	1 4
5	教員組織の概要	1 6
(1)	教員組織・担当科目の状況	1 6
(2)	科目別教員数一覧	2 0
(3)	専任教員交代の理由	2 1
(4)	専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	2 1
6	留意事項に対する履行状況等	2 2
7	情報提供に関する事項	2 4

教職大学院設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学院の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 鳴門教育大学

(2) 大学名

鳴門教育大学大学院

(3) 大学院本部の位置

徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	該当なし		
学長	(タカハシ ハジメ) 高橋 啓 (平成20年4月)		
研究科長	(タカハシ ハジメ) 高橋 啓 (平成20年4月)		
専攻長	(サコ ヒデカズ) 佐古 秀一 (平成20年4月)		

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - 調査対象研究科の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	認可時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
学校教育研究科 高度学校教育 実践専攻(P) 教職修士(専門職)	2 年	50 人	100 人	
学校・学級経営 コース		10	20	[学校・学級経営コース] 学校経営において中核的な役割を担う教員の養成を目的とする。
学校臨床実践 コース		15	30	[学校臨床実践コース] 生徒指導・教育相談に関する専門的知識をもつリーダー教員の養成を目的とする。
授業実践・カリキ ュラム開発コース		15	30	[授業実践・カリキュラム開発コース] 授業実践・カリキュラム開発に関する専門的知識をもつリー ダー教員の養成を目的とする。
教員養成特別 コース		10	20	[教員養成特別コース] 学卒者を対象とした実践的対応力・展開力に優れた新人教員の 養成を目的とする。

(5) - - (a) 調査対象研究科等の入学者の状況(概要)

(学校・学級経営コース)

区 分	対象年度		平均入学定員 超過率	備 考
	平成20年度	平成21年度		
A 入学定員	10 人		1.4倍	
志願者数	14			
受験者数	14			
合格者数	14			
B 入学者数	14			
入学定員超過率 B/A	1.40			

(学校臨床実践コース)

区 分	対象年度		平均入学定員 超過率	備 考
	平成20年度	平成21年度		
A 入学定員	15 人		0.73倍	
志願者数	11			
受験者数	11			
合格者数	11			
B 入学者数	11			
入学定員超過率 B/A	0.73			

(授業実践・カリキュラム開発コース)

対象年度 区分	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	15 人		0.53倍	
志願者数	8			
受験者数	8			
合格者数	8			
B 入学者数	8			
入学定員超過率 B / A	0.53			

(教員養成特別コース)

対象年度 区分	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	10 人		0.3倍	
志願者数	4			
受験者数	4			
合格者数	4			
B 入学者数	3			
入学定員超過率 B / A	0.30			

(5) - - (a) 調査対象研究科等の在学者の状況(概要)

(学校・学級経営コース)

対象年度 学 年	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	14		
2年次			
計	14		

(学校臨床実践コース)

学年 \ 対象年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	11		
2年次			
計	11		

(授業実践・カリキュラム開発コース)

学年 \ 対象年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	8		
2年次			
計	8		

(教員養成特別コース)

学年 \ 対象年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	3		
2年次			
計	3		

(5) - (b) 調査対象研究科等の入学者の状況(学生の区分毎)

(学校・学級経営コース：平成20年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	徳島県 教育委員会	派遣制度	0	4	2	3	1	10	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	4	2	3	1	10	
	香川県 教育委員会	派遣制度	0	2	1	0	0	3	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	2	1	0	0	3	
	静岡県 教育委員会	派遣制度	0	0	0	1	0	1	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	0	0	1	0	1	
	計	派遣制度	0	6	3	4	1	14	
修学休業制度		0	0	0	0	0	0		
勤務継続		0	0	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	0	0		
小 計		0	6	3	4	1	14		
合 計		0	6	3	4	1	14		

(学校臨床実践コース：平成20年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	徳島県 教育委員会	派遣制度	0	5	4	0	0	9	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	5	4	0	0	9	
	香川県 教育委員会	派遣制度	0	0	1	0	0	1	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	0	1	0	0	1	
	高知県 教育委員会	派遣制度	0	0	1	0	0	1	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	0	1	0	0	1	
	計	派遣制度	0	5	6	0	0	11	
修学休業制度		0	0	0	0	0	0		
勤務継続		0	0	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	0	0		
小 計		0	5	6	0	0	11		
合 計		0	5	6	0	0	11		

(授業実践・カリキュラム開発コース：平成20年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	徳島県 教育委員会	派遣制度	0	2	4	0	0	6	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	2	4	0	0	6	
	愛媛県 教育委員会	派遣制度	0	0	1	0	0	1	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	0	1	0	0	1	
	静岡県 教育委員会	派遣制度	0	1	0	0	0	1	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	1	0	0	0	1	
	計	派遣制度	0	3	5	0	0	8	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	3	5	0	0	8	
合 計		0	3	5	0	0	8		

(教員養成特別コース：平成20年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有	2	3	1	1	0	3	
		無	0	0	0	0	0	0	
		小 計	2	3	1	1	0	3	
合 計		2	3	1	1	0	3		

(5) - (b) 調査対象研究科等の在学者の状況(学生の区分毎)

(学校・学級経営コース：平成20年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	徳島県 教育委員会	派遣制度	0	4	2	3	1	10	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	4	2	3	1	10	
	香川県 教育委員会	派遣制度	0	2	1	0	0	3	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	2	1	0	0	3	
	静岡県 教育委員会	派遣制度	0	0	0	1	0	1	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	0	0	1	0	1	
	計	派遣制度	0	6	3	4	1	14	
修学休業制度		0	0	0	0	0	0		
勤務継続		0	0	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	0	0		
小 計		0	6	3	4	1	14		
合 計		0	6	3	4	1	14		

(学校臨床実践コース：平成20年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	徳島県 教育委員会	派遣制度	0	5	4	0	0	9	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	5	4	0	0	9	
	香川県 教育委員会	派遣制度	0	0	1	0	0	1	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	0	1	0	0	1	
	高知県 教育委員会	派遣制度	0	0	1	0	0	1	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	0	1	0	0	1	
	計	派遣制度	0	5	6	0	0	11	
修学休業制度		0	0	0	0	0	0		
勤務継続		0	0	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	0	0		
小 計		0	5	6	0	0	11		
合 計		0	5	6	0	0	11		

(授業実践・カリキュラム開発コース：平成20年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	徳島県 教育委員会	派遣制度	0	2	4	0	0	6	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	2	4	0	0	6	
	愛媛県 教育委員会	派遣制度	0	0	1	0	0	1	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	0	1	0	0	1	
	静岡県 教育委員会	派遣制度	0	1	0	0	0	1	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	1	0	0	0	1	
	計	派遣制度	0	3	5	0	0	8	
		修学休業制度	0	0	0	0	0	0	
		勤務継続	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
		小 計	0	3	5	0	0	8	
合 計		0	3	5	0	0	8		

(教員養成特別コース：平成20年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有	2	3	1	1	0	3	
		無	0	0	0	0	0	0	
		小 計	2	3	1	1	0	3	
合 計		2	3	1	1	0	3		

2 授業科目の概要

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数				授業形態			専任教員配置					備考	
		必修	選択	自由		講義	演習	実験 実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	教育課程の編成及び実施に関する領域 カリキュラム編成の実際と課題	1	2						1	1					<p>集中 設置認可時の計画では、週4回4週間の集中で行う予定であったが、時間割調整の結果、15週での開講が可能となったため</p> <p>集中 設置認可時の計画では、週4回4週間の集中で行う予定であったが、時間割調整の結果、15週での開講が可能となったため</p> <p>集中 設置認可時の計画では、週4回4週間の集中で行う予定であったが、時間割調整の結果、15週での開講が可能となったため</p> <p>集中 設置認可時の計画では、週4回4週間の集中で行う予定であったが、時間割調整の結果、15週での開講が可能となったため</p> <p>集中 設置認可時の計画では、週4回4週間の集中で行う予定であったが、時間割調整の結果、15週での開講が可能となったため</p> <p>集中 設置認可時の計画では、週4回4週間の集中で行う予定であったが、時間割調整の結果、15週での開講が可能となったため</p> <p>その他の領域については、2科目4単位以上を修得すること。</p>
	学校カリキュラムの開発	1・2	2						1						
	教科等の実践的な指導方法に関する領域 授業実践の分析と改善 学習指導の構成と展開 学習評価の実際と課題	1	2						1	1					
	1	2							1	1					
	1	2							1	2					
	生徒指導及び教育相談に関する領域 生徒指導・教育相談に関するケースカンファレンス	1・2	2								1				
	子どもの内面理解に関する実践と課題	1	2						1	1	1				
	学級経営及び学校経営に関する領域 学級経営の実際と課題 学校経営の実際と課題	1	2						1	1					
	1・2	2							2	1					
	学校教育と教員の在り方に関する領域 教員の在り方に関する実践と課題	1	2								1				
	1	2									1				
	その他の領域 乳幼児から児童期の発達支援と課題 軽度発達障害児への支援と課題 道徳教育の実際と課題	1・2		2											
	1・2		2												
	1・2		2						1						
コース別選択科目	学校・学級経営コース	学校組織の分析と開発	1		2				1	1				<p>学校・学級経営コース、学校臨床実践コース、授業実践・カリキュラム開発コースにあつては、所属するコースの科目群から8科目18単位を修得する。教員養成特別コースにあつては、所属するコースの科目群から8科目16単位を修得すること。</p> <p>集中</p> <p>集中</p>	
		家庭・地域との連携構築に関する事例研究	1		2			1	1						
		学校危機管理に関する事例研究	1		2				1	2					
		人材育成と校内研修	1		2				1	1		1			
		教育行政と学校教育	1		2				2						
		教育政策の動向と課題	1		2				1						
		学校プロジェクト事例演習(学校・学級経営)	1		2				3	2		1			
		実践課題探求(学校・学級経営)	2		4				3	2		1			

授業科目の名称		配当年次	単位数又は時間数				授業形態			専任教員配置					備考		
			必修	選択	自由		講義	演習	実験実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
コース 別 選 択 科 目	学校臨床実践コース	エンカウンターグループ体験演習	1	2					1								
		学校カウンセリングの実践と課題	1	2						1							
		外部機関との連携に関する実践と課題	1	2						2							
		学校メンタルヘルス相談の実践と課題	1	2							1						
		生徒指導・教育相談の実践と課題	1	2							1						
		学校臨床実践事例研究	1	2					1	1	1						集中
		学校プロジェクト事例演習(学校臨床実践)	1	2					1	2	1						集中
		実践課題探求(学校臨床実践)	2	4					1	2	1						
	授業実践・カリキュラム開発コース	学習者理解の実践と課題	1	2					1								
		学習者支援の実践と課題	1	2						1							
		カリキュラムの構成演習	1	2													
		教材教具の開発演習	1	2					2	1							
		学習者支援フィールドワーク	1	2						2							
		教師熟達フィールドワーク	1	2					1	1							
学校プロジェクト事例演習(授業実践・カリキュラム開発)	1	2					3	3							集中		
	実践課題探求(授業実践・カリキュラム開発)	2	4					3	3						集中		
教員養成特別コース	授業に関わる実践的研究	1	2						1								
	教科外活動に関わる実践的研究	1	2						2								
	生徒指導・進路指導に関わる実践的研究	1	2						1	1							
	授業熟達実地演習	1	2							2						集中	
	学級経営実地演習	1	2							2						集中	
	児童理解実地演習	1	2							2						集中	
	学級経営実践演習	2	2							2						集中	
	実践課題探求(教員養成特別)	2	2						5							集中	
実習 科 目	学校・学級経営コース																
	学校臨床実践コース																
	授業実践・カリキュラム開発コース																
	課題分析実習	2	4					7	7	1	1						
	異校種実習	2	2					7	7	1	1						
	課題解決実習	2	4					7	7	1	1						
	教員養成特別コース																
	授業熟達実習	1	2						5	1							
	学級経営基礎実習	1	2						5	1							
	児童理解実習	1	2						5	1							
	学級経営基礎実習	2	4						5	1							
総合インターンシップ	2	2						5	1								
総合インターンシップ	2	5						5									

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 10 []	科目 44 []	科目 []	科目 54 []	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	授業科目数に変更なし。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	共通・分野別・実習	必修・選択・自由	未開講の理由，代替措置の有無

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	共通・分野別・実習	必修・選択・自由	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

3 施設・設備の整備状況

区 分	認可時の計画	変更状況	備 考
【施設】 講義室	1室(300名収容), 1室(200名収容) 5室(100名収容), 6室(60名収容) 1室(50名収容), 3室(40名収容) 1室(30名収容), 1室(20名収容)		大学全体共用
演習室	63室(20名収容)		大学全体共用
その他教室 (実験実習室)	1室(80名収容), 2室(45名収容) 1室(25名収容), 40室(20名収容)		大学全体共用
(コラボレーション オフィス)	1室		実習等に関する連絡調整
自習室	4室(30名収容) 【学生1人当たりの専有面積1.4㎡】		
図書室	座席数 200席		大学全体共用 平日:8:45~22:00 土・日・祝日:11:00~18:00
情報処理学習施設	1室(51名収容、パソコン51台) 1室(28名収容、パソコン28台) 1室(16名収容、パソコン16台) 1室(6名収容、パソコン6台)		大学全体共用
教員研究室	22室(1名収容、パソコン1台)		
【設備】 図書	図書324,552冊【外国書52,750冊】 学術雑誌6,272種【外国雑誌1,004種】 データベース5点		大学全体共用
その他設備 ()			

4 - (1) 既設大学等の状況

大学の名称	鳴門教育大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
学校教育学部 学校教育教員養成 課程	年 4	人 100	年次 人	人 400	学士 (教育学)	倍 1.17	昭和61年度 平成12年度	徳島県鳴門市鳴 門町高島字中島 748番地

4 - (2) 既存の教員養成分野における研究科等の状況

【学校教育研究科学校教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分		平成19年度	平成20年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	31	平成20年度から「学校教育専攻」を「人間教育専攻」に改組した。
		修学休業制度	1	
		勤務継続		
		その他		
		小計（a）	32	
	学部新卒者（b）	62		
	社会人学生（c）	23		
	計（d=a+b+c）	117		
	入学定員（e）	145		
	定員超過率（d/e）	0.80		

【学校教育研究科人間教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分		平成19年度	平成20年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度		平成20年度から「学校教育専攻」を「人間教育専攻」に改組した。
		修学休業制度		
		勤務継続		
		その他		
		小計（a）		
	学部新卒者（b）		64	
	社会人学生（c）		20	
	計（d=a+b+c）		91	
	入学定員（e）		90	
	定員超過率（d/e）		1.01	

【学校教育研究科特別支援教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分		平成19年度	平成20年度	備 考	
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	4	5	
		修学休業制度	1		
		勤務継続			
		その他			
		小計（a）	5	5	
	学部新卒者（b）	8	8		
	社会人学生（c）		5		
	計（d=a+b+c）	13	18		
入学定員（e）		20	20		
定員超過率（d/e）		0.65	0.90		

【学校教育研究科教科・領域教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分		平成19年度	平成20年度	備 考	
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	27	14	
		修学休業制度	1	1	
		勤務継続			
		その他			
		小計（a）	28	15	
	学部新卒者（b）	69	58		
	社会人学生（c）	20	23		
	計（d=a+b+c）	117	96		
入学定員（e）		135	140	平成20年度の改組に伴い、定員数変更	
定員超過率（d/e）		0.86	0.68		

5 教員組織の概要

(1) 教員組織・担当科目の状況

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任等の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任等の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	佐古秀一(54)	平成20年4月	学級経営の実践と課題 学校経営の実践と課題 学校組織の分析と開発 学校危機管理に関する事例研究 人材育成と校内研修 学校プロジェクト事例演習(学校・学級経営) 実践課題探求(学校・学級経営) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習						(前)14.7,(後)10.4,(集中)90 (前)7.9,(後)2.7,(通年)4.3
専	教授	岩永定(53)	平成20年4月	学校経営の実践と課題 家庭・地域との連携構築に関する事例研究 教育行政と学校教育 学校プロジェクト事例演習(学校・学級経営) 実践課題探求(学校・学級経営) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習						(前)12.3,(後)9.6,(集中)90 (前)7.5,(後)2.7,(通年)4.3
専	教授	村川雅弘(52)	平成20年4月	カリキュラム編成の実際と課題 学校カリキュラムの開発 教師熟達フィールドワーク 学校プロジェクト事例演習(授業実践・カリキュラム開発) 実践課題探求(授業実践・カリキュラム開発) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習						(前)14.7,(後)8.4,(集中)90 (前)4,(後)2.7,(通年)4,(集中)30
専	教授	小野瀬雅人(50)	平成20年4月	授業実践の分析と改善 学習者理解の実際と課題 教材教具の開発演習 学校プロジェクト事例演習(授業実践・カリキュラム開発) 実践課題探求(授業実践・カリキュラム開発) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習						(前)12.9,(後)10.7,(集中)90 (前)6,(後)4.7,(通年)5
専	准教授	小坂浩嗣(48)	平成20年4月	生徒指導・教育相談に関するケースカンファレンス 学校カウンセリングの実践と課題 外部機関との連携に関する実際と課題 学校プロジェクト事例演習(学校臨床実践) 実践課題探求(学校臨床実践) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習						(前)12.7,(後)9.6,(集中)90 (前)4,(後)0.3
専	准教授	山田芳明(42)	平成20年4月	教科外活動に関わる実践的研究 授業熟達実地演習 実践課題探求(教員養成特別) 授業熟達実習 学級経営基礎実習 児童理解実習 学級経営実践実習 総合インターンシップ 総合インターンシップ						(前)13.7,(後)24,(通年)7.5, (集中)60 (前)5.8,(後)5.4
専	准教授	川上綾子(41)	平成20年4月	学習評価の実際と課題 学習者支援の実際と課題 学習者支援フィールドワーク 学校プロジェクト事例演習(授業実践・カリキュラム開発) 実践課題探求(授業実践・カリキュラム開発) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習						(前)12.9,(後)10.8,(集中)90 (前)7.7,(後)2.7,(通年)5
専	准教授	葛上秀文(40)	平成20年4月	生徒指導・進路指導に関わる実践的研究 児童理解実地演習 実践課題探求(教員養成特別) 授業熟達実習 学級経営基礎実習 児童理解実習 学級経営実践実習 総合インターンシップ 総合インターンシップ						(前)13.7,(後)24,(通年)7.5, (集中)60 (前)7,(後)3.3,(通年)5

専	准教授	藤原伸彦 (39)	平成20年4月	学級経営実地演習 学級経営実践演習 実践課題探求(教員養成特別) 授業熟達実習 学級経営基礎実習 児童理解実習 学級経営実践実習 総合インターンシップ 総合インターンシップ						(前)12.5,(後)24,(通年)7.5, (集中)60 (前)5.7,(後)1.4
専	助教	芝山明義 (47)	平成20年4月	人材育成と校内研修 学校プロジェクト事例演習(学校・ 学級経営) 実践課題探求(学校・学級経営) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習						(前)12,(後)8.8,(集中)90 (前)3.5,(通年)4.3
専・他	教授	山下一夫 (55)	平成20年4月	子どもの内面理解に関する実践と 課題 エンカウンターグループ体験演習 学校臨床実践事例研究 学校プロジェクト事例演習(学校 臨床実践) 実践課題探求(学校臨床実践) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習						(前)13.3,(後)9.7,(集中)90 (前)5.9,(後)2.3,(通年)5
専・他	教授	西村公孝 (53)	平成20年4月	学習指導の構成と展開 学習評価の実際と課題 教材教具の開発演習 学校プロジェクト事例演習(授業 実践・カリキュラム開発) 実践課題探求(授業実践・カリ キュラム開発) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習						(前)13.5,(後)8.5,(集中)90 (前)4.3,(後)4.7,(通年)4
実・専	教授	兼松儀郎 (60)	平成20年4月	道德教育の実践と課題 教育行政と学校教育 教育政策の動向と課題 学校プロジェクト事例演習(学校・ 学級経営) 実践課題探求(学校・学級経営) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習						(前)14,(後)10,(集中)90 (前)7,(後)4,(通年)5
実・専	准教授	大西 宏 (63)	平成20年4月	学校経営の実践と課題 家庭・地域との連携構築に関する 事例研究 学校危機管理に関する事例研究 学校プロジェクト事例演習(学校・ 学級経営) 実践課題探求(学校・学級経営) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習						(前)13,(後)9.5,(集中)90 (前)4.4,(後)2.7,(通年)4.3
実・専	准教授	廣瀬隆司 (56)	平成20年4月	カリキュラム編成の実際と課題 学習指導の構成と展開 教材教具の開発演習 教師熟達フィールドワーク 学校プロジェクト事例演習(授業 実践・カリキュラム開発) 実践課題探求(授業実践・カリ キュラム開発) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習						(前)13.2,(後)9.2,(集中)90 (前)4,(後)4,(通年)0.3
実・専	准教授	木下光二 (49)	平成20年4月	教科外活動に関わる実践的研究 授業熟達実地演習 学級経営実践演習 実践課題探求(教員養成特別) 授業熟達実習 学級経営基礎実習 児童理解実習 学級経営実践実習 総合インターンシップ 総合インターンシップ						(前)13.8,(後)24,(通年)7.5, (集中)60 (後)0.7
実・専	准教授	豊成 哲 (49)	平成20年4月	教員の在り方に関する実践と課 題 授業に関わる実践的研究 学級経営実地演習 児童理解実地演習 実践課題探求(教員養成特別) 授業熟達実習 学級経営基礎実習 児童理解実習 学級経営実践実習 総合インターンシップ 総合インターンシップ						(前)13.1,(後)24,(通年)7.5, (集中)90

Ⓐ・㊦	准教授	久我直人 (46)	平成20年4月	学級経営の実践と課題 学校組織の分析と開発 学校危機管理に関する事例研究 人材育成と校内研修 学校プロジェクト事例演習(学校・学級経営) 実践課題探求(学校・学級経営) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習						(前)14,(後)9.8,(集中)90 (前)6.7,(後)2,(通年)4
Ⓐ・㊦	准教授	佐藤 亨 (45)	平成20年4月	子どもの内面理解に関する実践と課題 外部機関との連携に関する実践と課題 学校臨床実践事例研究 学校プロジェクト事例演習(学校臨床実践) 実践課題探求(学校臨床実践) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習						(前)12.2,(後)9.7,(集中)90 (前)2.2,(後)1.3,(通年)4
Ⓐ・㊦	講師	末内佳代 (52)	平成20年4月	子どもの内面理解に関する実践と課題 学校メンタルヘルス相談の実践と課題 生徒指導・教育相談の実践と課題 学校臨床実践事例研究 学校プロジェクト事例演習(学校臨床実践) 実践課題探求(学校臨床実践) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習						(前)12.5,(後)10.4,(集中)90 (前)1,(後)0.3
Ⓐ・㊦・他	准教授	香西 武 (56)	平成20年4月	授業実践の分析と改善 学習評価の実践と課題 学習者支援フィールドワーク 学校プロジェクト事例演習(授業実践・カリキュラム開発) 実践課題探求(授業実践・カリキュラム開発) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習	Ⓐ・㊦・他	教授	香西 武 (57)	平成20年7月	授業実践の分析と改善 学習評価の実践と課題 学習者支援フィールドワーク 学校プロジェクト事例演習(授業実践・カリキュラム開発) 実践課題探求(授業実践・カリキュラム開発) 課題分析実習 異校種実習 課題解決実習	(前)12.7,(後)9.3,(集中)90 (前)7,(後)4.4,(通年)4.2,(集中)30 職位の変更(准教授から教授に変更) 平成20年4月変更書提出予定
Ⓐ・み	講師	岩久保和義 (61)	平成20年4月	生徒指導・進路指導に関わる実践的研究 授業熟達実習 学級経営基礎実習 児童理解実習 学級経営実践実習 総合インターンシップ						(前)12.3,(後)24
兼 担	教授	服部勝憲 (63)	平成20年4月	学校カリキュラムの開発						
兼 担	教授	橋本俊顯 (63)	平成20年4月	軽度発達障害児への支援と課題			後任未定			一身上の都合のため平成20年3月退職
兼 担	教授	西園芳信 (60)	平成20年4月	カリキュラムの構成演習						
兼 担	教授	八幡ゆかり (56)	平成20年4月	軽度発達障害児への支援と課題						
兼 担	教授	井上和臣 (56)	平成20年4月	生徒指導・教育相談に関するケースカンファレンス 学校メンタルヘルス相談の実践と課題 生徒指導・教育相談の実践と課題						
兼 担	教授	橋川喜美代 (56)	平成20年4月	乳幼児から児童期の発達支援と課題						
兼 担	教授	三宮真智子 (54)	平成20年4月	教員の在り方に関する実践と課題						
兼 担	教授	梅野圭史 (53)	平成20年4月	学習指導の構成と展開 教師熟達フィールドワーク						
兼 担	教授	島田恭仁 (52)	平成20年4月	軽度発達障害児への支援と課題						

兼担	教授	浜崎隆司 (51)	平成20年4月	乳幼児から児童期の発達支援と課題						
兼担	准教授	津田芳見 (56)	平成20年4月	軽度発達障害児への支援と課題						
兼担	准教授	井上とも子 (55)	平成20年4月	軽度発達障害児への支援と課題						
兼担	准教授	長島真人 (54)	平成20年4月	授業に関わる実践的研究						
兼担	准教授	粟飯原良造 (53)	平成20年4月	生徒指導・教育相談に関するケースカンファレンス 教員の在り方に関する実践と課題 エンカウンターグループ体験演習 学校カウンセリングの実践と課題						
兼担	准教授	石村雅雄 (47)	平成20年4月	教育行政と学校教育 教育政策の動向と課題						
兼担	准教授	梅津正美 (47)	平成20年4月	授業実践の分析と改善						
兼担	准教授	大谷博俊 (46)	平成20年4月	軽度発達障害児への支援と課題						

(2) 科目別教員数一覧

区分	職名	科目分類									合計	備考
		共通科目							コース別 選択科目	実習科 目		
		領域	領域	領域	領域	領域	領域	小計				
⑤	教授	(1) 1	(1) 1	()	(2) 2	()	()	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	
	准教授	()	(1) 1	(1) 1	()	()	()	(2) 2	(5) 5	(5) 5	(5) 5	
	講師	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	助教	()	()	()	()	()	()	()	(1) 1	(1) 1	(1) 1	
⑤・他	教授	()	(1) 1	(1) 1	()	()	()	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2	
	准教授	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	講師	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	助教	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
⑤・⑤	教授	()	()	()	()	()	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	
	准教授	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(2) 2	(1) 1	()	(5) 5	(6) 6	(6) 6	(6) 6	
	講師	()	()	(1) 1	()	()	()	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	
	助教	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
⑤・⑤ ・他	教授	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	准教授	()	(1) 1	()	()	()	()	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	
	講師	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	助教	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
⑤・み	教授	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	准教授	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	講師	()	()	()	()	()	()	()	(1) 1	(1) 1	(1) 1	
	助教	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
兼担	教授	(1) 1	(1) 1	(1) 1	()	(1) 1	(5) 4	(9) 8	(3) 3	()	(10) 9	教授1人:平成20年3月退職
	准教授	()	(1) 1	(1) 1	()	(1) 1	(3) 3	(5) 5	(3) 3	()	(7) 7	
	講師	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	助教	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
合計	教授	(2) 2	(3) 3	(2) 2	(2) 2	(1) 1	(6) 5	(16) 15	(10) 10	(7) 7	(17) 16	兼担教授1人:平成20年3月退職
	准教授	(1) 1	(4) 4	(3) 3	(2) 2	(2) 2	(3) 3	(13) 13	(15) 15	(12) 12	(19) 19	
	講師	()	()	(1) 1	()	()	()	(1) 1	(2) 2	(2) 2	(2) 2	
	助教	()	()	()	()	()	()	()	(1) 1	(1) 1	(1) 1	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退等含む）等の理由
1	該当者なし		
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時 (平成19年12月3日)</p>	<p>設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的、さらに理論と実践を融合して専ら小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び幼稚園の高度の専門的な能力及び優れた資質を有する教員の養成のための教育を実施するという教職大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>教育課程・教育方法等の履行状況 設置計画において20年度開設予定とした授業科目は、全て計画どおり開講した。教育方法についても、教職大学院の趣旨をふまえ、実務家教員と研究者教員による共同授業形式を取り入れた授業を計画どおり実施することとしている。なお、それぞれの授業科目において、事例研究、小集団での討議、ロールプレイング、授業観察などを積極的に取り入れることについても、4月に実施したFDの会合（全ての専任教員が出席）においても確認している。</p> <p>指導体制 設置計画どおり実務家教員(10人)と研究者教員(12人)が専任教員として配置され、理論と実践の融合を図った授業が展開できる体制が整備された。教職大学院における教育課程の特色でもある実習に関しても、設置計画では理論と実践の両面からの指導を行うため、実務家教員と研究者教員の両者が共同して大学院生を指導することが可能な体制となっている。</p> <p>教育研究活動充実のための組織体制 専攻の運営については、設置計画を確実に履行するため、すでに設置認可後から、月1回の専任予定教員会議を開催し、教職大学院における教育課程、教育方法等において教員の共通理解を図りながら準備を進めてきた。 4月以降は、専攻会議（専任教員によって構成）を開催し（定例会は月1回）、専攻の運営及び設置計画に基づく教育・研究の進展状況等を確認することとしている。さらに専攻内に「カリキュラム開発チーム」、「連携協力校運営チーム」、「自己点検・評価委員会」、「ファカルティ・ディベロップメント委員会」を設置し、教育課程、教育方法等の評価・改善を行い、教育研究の一層の向上に努める。なお、「カリキュラム開発チーム」、「連携協力校運営チーム」については、専攻教員だけでなく教育委員会関係者並びに連携協力校関係者を構成員として加え、本専攻における教育研究等に対するデマンドサイドからの評価等を行うようにしている。 また、教職大学院の設置に伴い、本学に「教職大学院コラボレーションオフィス」を設置し、教育委員会・学校との連絡・調整を行うとともに、連携協力校における研修・研究等の支援に関する企画業務を行う体制を整えた。</p>	

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時</p> <p>(平成19年12月3日)</p>		<p>ファカルティ・ディベロップメントの取り組み</p> <p>本専攻では、全ての授業科目において大学院生からの授業評価を実施することとし、教員に周知を図っている。また、「ファカルティ・ディベロップメント委員会」では、講義用、実習用等、授業種別ごとの評価項目の作成に着手している。</p> <p>また、上記の「カリキュラム開発チーム」、「連携協力校運営チーム」の活動等によって、教育委員会・連携協力校と連携を深め、本専攻の教育活動の充実・改善に努める。</p>	
	<p>学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、1年間に登録できる単位数について、単位の実質化の観点から再検討し改善すること。</p>	<p>高度学校教育実践専攻では、学校現場が直面している諸課題の構造的・総合的な理解にたつて幅広く指導性を発揮できる教員の養成を目指した教育課程を編成している。</p> <p>各年次における配当単位数は、学校・学級経営コース、学校臨床実践コース、授業実践・カリキュラム開発コースにおいては、1年次：34単位、2年次：18単位であり、教員養成特別コースにおいては、1年次32単位、2年次20単位である。</p> <p>大学院生が本専攻のそれぞれの授業科目の学習に積極的に取り組むことを図り、かつ必修科目以外の科目履修を一定程度可能にするために、本専攻で履修できる年間の単位数の上限を38単位と定めた。</p> <p>なお、大学院生が履修すべき科目等の指履修指導については、教務課教育支援チームの担当者と履修等の相談を担当する教員を配置し、大学院生の修学ニーズに応じた履修指導を行っている。</p>	

7 情報提供に関する事項

設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年 4 月 2 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.naruto-u.ac.jp/01_soumu/0102_kikaku/p-secchikeikaku.htm)

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年 4 月 2 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.naruto-u.ac.jp/01_soumu/0102_kikaku/p-secchikeikaku.htm)